

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	JASS17 ガラス工事改定小委員会	主 査 名：角田 誠 就任年月：2019 年 4 月																																																												
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (内外装工事運営委員会)	委員長名：橘高 義典 主 査 名：横山 裕																																																												
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2020 年 3 月																																																													
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ JASS17 ガラス工事改定小委員会は、前回改定から 10 年以上経過した JASS17 ガラス工事の改訂を行う。委員会の体制としては、小委員会と WG を設置する。小委員会では改定方針と執筆作業の体制を決定する。具体的には、前回改定以降の技術の変化、基準類の変更の洗い出しを行う。これを踏まえ、節の構成の見直しの必要性の検討、変更・加筆すべき内容の検討を行う。これらの作業を通じて、全体の改定方針を決定する。</p> <p>また、SSG 構法検討 WG を設置し、最新の情報を収集した上で、SSG についての記述を見直すかどうかを検討する。</p> <p>これら方針が明確になったところで、執筆 WG を設置して、分担して執筆を行う。なお、SSG 構法以外にも、旧来の JASS からほとんど変更していない数値などは、今回一通り見直す予定である。</p> <p>(各年度活動計画) 初年度： <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回改定以降の技術の変化、基準類の変更の洗い出し等 ・ 改訂版の出版、及び講習会の開催を予定していたが、査読対応の遅れが生じたことをうけ、改訂に万全を期すため、もう一年間の小委員会延長を決定した。 </p>																																																													
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 20%;">役職</th> <th style="width: 20%;">氏名</th> <th style="width: 55%;">所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>主査</td><td>角田誠</td><td>首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース</td></tr> <tr><td>2</td><td>幹事</td><td>清家剛</td><td>東京大学大学院 新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻</td></tr> <tr><td>3</td><td>幹事</td><td>名取発</td><td>東洋大学 ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科</td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td>井上朝雄</td><td>九州大学大学院 芸術工学研究院環境・遺産デザイン部門</td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td>江口亨</td><td>横浜国立大学 都市イノベーション研究院</td></tr> <tr><td>6</td><td></td><td>熊谷亮平</td><td>東京理科大学 工学部第一部建築学科</td></tr> <tr><td>7</td><td></td><td>菊池哲</td><td>板硝子協会 (AGC グラスプロダクツ(株))</td></tr> <tr><td>8</td><td></td><td>高原正弘</td><td>板硝子協会 (日本板硝子(株))</td></tr> <tr><td>9</td><td></td><td>俵田忠明</td><td>板硝子協会 (セントラル硝子(株))</td></tr> <tr><td>10</td><td></td><td>松尾隆士</td><td>清水建設(株)</td></tr> <tr><td>11</td><td></td><td>多賀洋</td><td>(株)日本設計</td></tr> <tr><td>12</td><td></td><td>石井久史</td><td>(株)LIXIL</td></tr> <tr><td>13</td><td></td><td>井上卓</td><td>(株)竹中工務店</td></tr> <tr><td>14</td><td></td><td>吉田一彦</td><td>日建設計</td></tr> </tbody> </table>			役職	氏名	所属	1	主査	角田誠	首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース	2	幹事	清家剛	東京大学大学院 新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻	3	幹事	名取発	東洋大学 ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科	4		井上朝雄	九州大学大学院 芸術工学研究院環境・遺産デザイン部門	5		江口亨	横浜国立大学 都市イノベーション研究院	6		熊谷亮平	東京理科大学 工学部第一部建築学科	7		菊池哲	板硝子協会 (AGC グラスプロダクツ(株))	8		高原正弘	板硝子協会 (日本板硝子(株))	9		俵田忠明	板硝子協会 (セントラル硝子(株))	10		松尾隆士	清水建設(株)	11		多賀洋	(株)日本設計	12		石井久史	(株)LIXIL	13		井上卓	(株)竹中工務店	14		吉田一彦	日建設計
	役職	氏名	所属																																																											
1	主査	角田誠	首都大学東京 都市環境学部 建築都市コース																																																											
2	幹事	清家剛	東京大学大学院 新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻																																																											
3	幹事	名取発	東洋大学 ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科																																																											
4		井上朝雄	九州大学大学院 芸術工学研究院環境・遺産デザイン部門																																																											
5		江口亨	横浜国立大学 都市イノベーション研究院																																																											
6		熊谷亮平	東京理科大学 工学部第一部建築学科																																																											
7		菊池哲	板硝子協会 (AGC グラスプロダクツ(株))																																																											
8		高原正弘	板硝子協会 (日本板硝子(株))																																																											
9		俵田忠明	板硝子協会 (セントラル硝子(株))																																																											
10		松尾隆士	清水建設(株)																																																											
11		多賀洋	(株)日本設計																																																											
12		石井久史	(株)LIXIL																																																											
13		井上卓	(株)竹中工務店																																																											
14		吉田一彦	日建設計																																																											
設置 WG (WG 名：目的)	<p>(SSG 構法検討 WG) 目的：SSG 構法の現状の技術について確認し、JASS17 の記述の修正が必要かどうか検討する。</p> <p>(ガラス構法執筆 WG) 目的：JASS17 ガラス工事の執筆を行う。 ガラス各構法は専門性の高い内容であるので、執筆グループを編成し、執筆を行う。内容は、ガラススクリーン構法、SSG 構法、張付け構法等である。なお、現行版 1 節に書かれている、ガラス構法全体に関わる事項（性能、材料、施工、製作、取付け、検査等）については、小委員会において、各構法の内容との調整をしつつ執筆を行う。</p>																																																													
2019 年度予算	260,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無																																																												

項 目	自己評価	
委員会開催数	1 回（年度内計画を含む）	
刊行物 （シンポジウム資料等は 除く）	1 .	
講習会	1 .	参加者数 名
催し物 （シンポジウム・セミナー等） *能力開発支援事業委員会 承認企画	1 .	参加者数 名
	2 .	参加者数 名
大会研究集会	1 .	参加者数 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1 .	
目標の達成度 （当初の活動計画と得ら れた成果との関係）	1 . 2 . 3 .	
委員会活動の問題点 ・課題	1 . 2 . 3 .	